

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童発達支援センターなないろ軽井沢			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・就学前に少人数による集団を経験できる。 ・言葉の指示が理解できているのか、絵カード（視覚）の方が有効なのか等、本人の強みを見極める。 ・手先指先を使う制作や音楽、運動などのさまざまな感覚を経験できる。 ・報連相が行いやすい。	・身支度は自分でできるように少しずつ促して、自分でできるように目指している。 ・名前を呼ばれて反応があるか、活動の流れを理解しているのか、等繰り返し、児童がどう理解しているのかをよく見て対応する。 ・専門職の対応を見ながら学ぶようにしている。 ・職員全員で検討しながら個別支援計画を作成している。	・意思を伝えることができるようになるように、やりとりが発生するおもちゃ、工作、運動の場面での場面作り。 ・静と動のメリハリを大切に、春からは外遊びや散歩等もできるとよい。 ・月1回程度でも手作りおやつのお時間を作る必要がある。
2	・研修の機会が多い。基本的なことから見直すことができる。専門的な学習の機会にもなる。 ・施設環境。 ・さまざまな有資格スタッフがいるため、いろいろな視点でできることができる。 ・役割が一人一人できている。	・苦手な感覚刺激であってもはじめは道具を用いて触れ合うことができるように促す（のり、絵具、弁当、等）。 ・児童の経験を増やすための学びの場作り。 ・皆が見えるようにホワイトボードに役割分担を記入し事前に担当に伝えておく。 ・月に数回だが、作業療法士、音楽療法士の専門的な関わりを提供している。	・支援を振り返り次への対応をスタッフ間で話し合う。 ・環境充実の強化（教材や遊具等）。 ・職員による職員ののための勉強会を行ってはどうか。 ・活動後に振り返りをしている。 ・活動内容をスタッフでより検討できるとよい。
3	・利用児の情報共有ができています。 ・一日の流れを毎回同じにしている（保育園等と同じような流れ）。 ・音楽療法、感覚統合の専門家に来てもらい行っている。 ・一日を通じて生活リズムを整えらえる（食事、睡眠、活動など）。	・些細なことと思われることでも報連相をする。 ・支援計画の話し合いや支援記録の確認。 ・片づけを自分で行い、切り替えられるようにする。 ・個々の発達に合わせて身の回りのことを自分で行う。 ・いつもと異なる活動でも安心して参加できるようにしている。 ・活動内容がマンネリ化しないようにしている。 ・スケジュールを一定にして安心して過ごせるようにしている。	・できたことを職員全員で共有し成長に合わせて同じ対応をしていく。 ・普段の活動の中に取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・日頃からもう少しダイナミックに体を動かせる運動ができるとよい。 ・外遊びが少ない。 ・振り返りや情報共有が不十分。	・マットやボールのさらなる購入活用によって活動の幅が広がる。 ・園庭ができることで解決すると思われる。 ・一人一人の児童をその時その時にアセスメントしつつ、対応・支援できる余裕がもてる。	・スタッフ増員の必要性。 ・話し合いの時間を作る。 ・お互い意識する。 ・アセスメントをしっかりと行い個々に合わせた活動のやり方を考える。 ・発達段階等に合わせたグループ分け。
2	・スタッフの人数が少ない。 ・方針の不一致。 ・呼びかけや声掛けが少ない。 ・年齢や発達段階がさまざまなので同じ活動を個人差ができて対応し切れないことがある。	・利用時が多い時に送迎や訪問などでスタッフ数が少ない時間がある。 ・話し合いの不足。 ・声掛けでなくスタッフ全体に気づいてもらう。 ・アセスメントがきちんとできていない。	・ケース会議などの時間がより持てると良いのではないかな。 ・情報共有の在り方。
3		・専門職同士の連携がうまくとれていないかもしれない。 ・人員不足。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 なないろ軽井沢

公表日 2025年 3月 26日

利用児童数 20

回収数 16 (回収率80%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0	・広々とした空間で伸び伸び活動できていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	4	1	3	・言語聴覚士がいなくなったのは残念。言語聴覚士にいて欲しい。 ・作業療法士、音楽療法士の方に来ていただけて子どもの成長に なっていると思う。 ・スポットではなく常勤を望むしてほしい。	必要に応じて専門機関・職に繋いでいく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	0	・清潔にしている。不要な物が置いていないので 子どももスムーズに活動に取り組んでいる。 ・子どもの手足が冷え切って帰宅することがなく 風邪の心配がなくなった。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	1	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	2	1	0	・公表されていない。	公表する。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1	0	3		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	2	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1	0	3	・紙での連絡では活動内容をすべて把握できない部分もあるので参観の機会があると良い。	気軽に参観に来ていただくようにアナウンスしていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	4	5		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	3	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1	0	3		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	5	2	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1	0	0	・送迎の際に一日の子どもの様子を教えてくださいありがたい。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	1	0	・支援会議で子ども発達や成長、なないろ軽井沢での様子を教えてくださいるので参考になる。 ・スタッフにより差がある。	研修等を通じてスタッフの知識・技能向上に努める。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	1	3	・保護者同士の繋がりが無いので情報交換できる場が欲しい。 ・参加する保護者が少ないため、まず参加率を上げるべきではないか。	保護者会を開催していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	3	0	1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	15	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	16	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	12	2	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	12	2	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	1	1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	1	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	1	・送り出す時もお迎えの時も笑顔で楽しそうにし て嬉しく思う。 ・長期休みになってしまうと嫌がることもあるが 最後は「楽しかった」と言っている。	成長した点・変化した点などもお伝えし ていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	・「何をしたいのか」だけでなく「どのような成長がみられたか」も時々聞かせて 欲しい。 ・出来たこと、出来なかったことを伝えていただき、子どもがどのように過ごし ているか想像でき、安心できる。出来ることが増え、満足している。 ・何人の子が通っていて、どんな特性の子なのか、何歳の子が何人いるのか、な ど他の子のことが知りたい。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		なないろ軽井沢	公表日				2025年 3月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・他の場所も使用している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	7				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・適宜、職員間で行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	3				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	8	・公表されていない。	公表する。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3	・チームではできていない。	事業所内の体制を見直し、チームで行えるようにしていく。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	2	・個別活動はできていない。	事業所内の体制を見直し、個別・集団活動を組み合わせるようにしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	4	・流れが異なる時は確認している。 ・必ず打ち合わせの時間が確保できる訳ではない。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	7	2		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	3		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	2		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・通園している児童はそこでその機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	4		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・月報を発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・研修や講演は地域の方々も参加できる。 ・町主体で開催される講演会を実施している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	6	・医師の指示は無い。 ・保護者からの連絡のみで指示書は無い。	医師からの指示を得るようにしていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	4		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・虐待防止講習会を法人内で講師を招き実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		